

- 管内 釧路管内
- 分類 通学路の点検 交通安全教室 安全教育 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ）科 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 地域や関係機関と連携を図った校区安全見守りマップの作成や交通安全指導の取組
- 体験的な活動を取り入れた交通安全教室の実施

取組の実際

ねらい

- 児童が安全に登校できるよう学校と地域、関係機関が連携して校区安全見守りマップを作成・周知するとともに、登校を見守ることで児童の交通安全を確保することや、体験的な交通安全教室を実施することで交通安全に対する意識を高める。

内容

1 地域、関係機関と連携した取組の充実

○ 「校区安全見守りマップ」の作成・周知

- ・保護者、地域住民からの意見を参考に、見通しの悪い交差点や交通量の多い交差点の写真を掲載した「校区安全見守りマップ」を作成した。
- ・作成したマップを全校児童、町内会及び関係機関へ配付し、危険箇所等について周知した。



【関係機関と連携を図った通学路の点検】

○ 地域、関係機関と連携した通学路の安全点検の実施

- ・2月に、新年度に向けて警察や交通指導員、行政機関、コミュニティ・スクール協議会の関係者等と連携を図り、車からの見通しや横断歩道周辺の交通量、路面の凍結状況、歩道の除雪等の状況について点検した。

2 登校時における交通安全指導

○ 地域と連携した交通安全指導の充実

- ・交通安全指導員や地域ボランティアの協力を得て、毎朝、児童が安全に登校できるよう、見通しの悪い交差点や横断歩道で安全指導や見守り等を行った。



【横断歩道における交通安全指導】

3 交通安全教室の取組

○ 体験的な活動を取り入れた交通安全教室の実施

- ・関係機関と連携し、信号機を用いた体験的な活動の実施や交通安全指導員による講話などを通して、交通ルールの理解を深めた。

成果と課題

- 校区安全見守りマップ作成に向けて関係機関と通学路の危険箇所を点検し、現状の把握と共通理解を図るとともに、児童への安全指導の際、教室に掲示された校区安全見守りマップに基づいて具体的に指導することにより、児童の交通安全に対する意識を高めることができた。
- 地域や交通状況の変化に伴い、校区安全見守りマップの修正が求められることから、今後も関係機関等と連携した校区通学路の安全点検や検討の機会を定期的に設ける必要がある。